

令和2年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立国際・文化センター				
所在地	宝塚市南口2丁目14番1-3号				
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人宝塚市国際交流協会	指定期間	開始日	平成30年4月1日
	所在地	宝塚市南口2丁目14番1-3号		終了日	令和3年3月31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間3年のうち2年目	
施設設置目的	市民の国際交流活動の促進及び芸術文化の向上を図るため、宝塚市立国際・文化センターを設置する。				
主な実施事業	(1) 市民の国際理解を深める諸事業に関する事。 (2) 市内に在住する外国人に対する支援に関する事。 (3) 国際交流ボランティア活動団体の活動の場の提供に関する事。 (4) 国際交流に関する情報の発信に関する事。 (5) 優れた生活文化に触れる場の提供に関する事。 (6) 芸術文化の創作及び発表の場の提供に関する事。 (7) 芸術文化に関する情報の発信に関する事。 (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	人	40000	39064	40000	47313	40000	44592	40000	37851
b 利用件数	件	1500	1558	1550	1619	1500	1549	1500	1315
c 稼働率	%	43	45.1	45	47.5	45	44.4	45	37
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算
収入計	A	49,262	48,568	46,436	46,962
指定管理料		41,495	41,495	41,495	41,834
利用料収入	C	3,891	3,875	3,371	3,047
自主事業収入		0	0	0	0
その他		3,876	3,198	1,570	2,081
支出計	B	47,642	46,834	46,159	46,671
指定事業費		47,642	46,834	46,159	46,671
内、人件費	D	15,931	15,895	16,098	16,210
内、再委託料	E	3,433	3,683	3,565	3,745
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	1,620	1,734	277	291
利用料金比率	C/A	7.9 %	8.0 %	7.3 %	6.5 %
人件費率	D/B	33.4 %	33.9 %	34.9 %	34.7 %
再委託費比率	E/B	7.2 %	7.9 %	7.7 %	8.0 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月13日から3月31日まで、一部休館(貸館新規受付の停止、利用自粛要請)を実施した。
------	---

4 評価

注)自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A	A
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	A
	利用者アンケート等	利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B
	《 総括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	施設利用については会議室、小ホールは昨年同様、高い推移で稼働していたが新型コロナウイルス対策により大幅に減となった。またギャラリーにおいては年々利用率が減少している。利用促進に向け、ホームページの充実や広告、チラシ作成により利用拡大を図っている状況である。自主事業についても計画通りの執行であったが2月、3月は新型コロナウイルスの影響を受け中止となった事業が続出した。一方で在日外国人への相談事業は継続し相談を受け付けた。			
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	当指定管理者は、国際交流事業の実績が豊富であり、安定した施設の管理運営を行っています。R2年1月頃から新型コロナウイルス感染拡大で外国人市民の生活にも影響が生じましたが、生活相談に応じ、適切にサポートを行ったことは高く評価できます。一方、新型コロナウイルス感染拡大前についても稼働率が前年より微減となっているため、今後も利用者等の意見を取り入れ、事業運営及び施設管理に反映させることで利用者の増加に努めることを期待します。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	S	= 協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	= 協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	= 協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	= 協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	= 評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	= 評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	= S、A、C以外
	C	= 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	= 自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	= S、A、C以外
	C	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。